

Jアラート新型受信機導入の必要性

背景

- 広域にわたって影響が及ぶ大規模地震等の多発
- 特別警報等の気象庁から発信される情報の増加
- 北朝鮮による弾道ミサイル発射

Jアラートによる情報伝達機会の増加・
一回当たりの配信情報量の増加

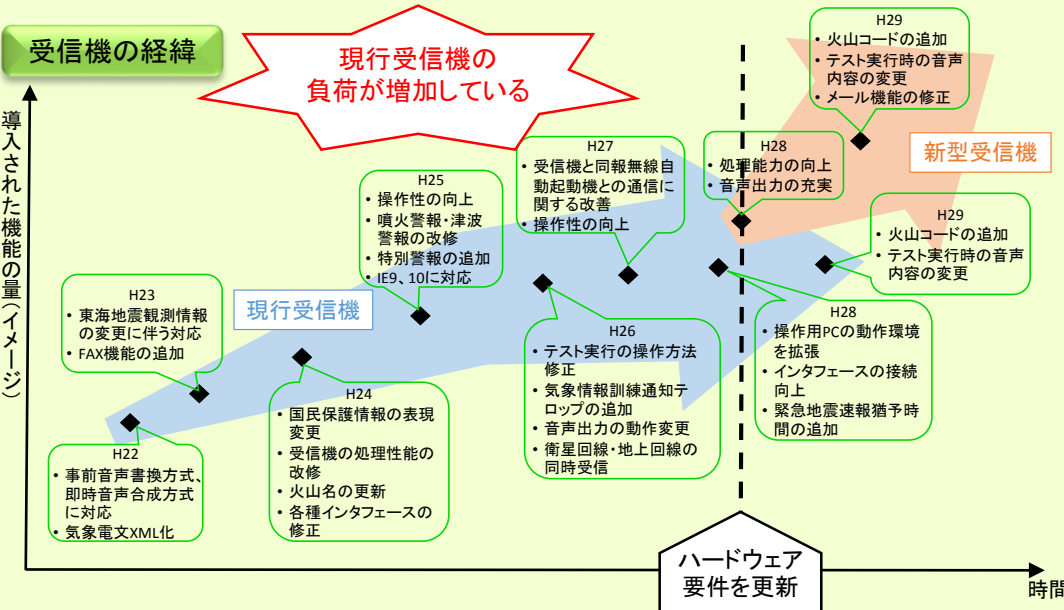
緊急防災・減災事業債
の対象期間
→ 平成30年度まで

注意!

平成31年度から現行受信機は情報受信ができません

Jアラート

時間的に猶予のない緊急事態の発生を瞬時に国民へ伝え、迅速な避難行動を促すことを目的とする



現行受信機はH22年に定義したハードウェア要件のまま、ソフトウェアのみ更新してきた

既に処理できる能力の限界に達している

- × フリーズ又は遅延の発生リスク大
- × 音声正常に伝達されない可能性
- × メーカーの修理やサポートの対象外
- × セキュリティ脆弱性の問題

新型受信機の特徴

- ◎ 高処理機種種の採用
 - 処理速度が速くなり、安定した情報伝達
- ◎ 音声出力の充実
 - 警報・注意報名を付与した音声再生
 - スピーカ等での音声再生において、柔軟な再生機能追加 等
- ◎ セキュリティの確保

正確な警報名を伝達でき、高速で安定した処理が可能

- 現行受信機を使い続けた時の問題は...
1. 正確な情報を伝えることができないおそれ
 2. 今後、新たなソフトウェアの導入が困難

緊急性があるミサイル事案、
広範囲に影響を及ぼす大規模災害が発生したら？

新型受信機は平成30年度までに必ず導入してください！